

(1)林業の生産性向上対策

① 森林整備

プロジェクト 緑豊かな森林づくりによるCO₂吸収力の強化

目 標

・再造林率	R4：32%	→	R10：40%
・間伐面積	R4：1,873ha	→	R10：2,400ha
・コンテナ苗生産量	R4：96万本	→	R10：120万本
・森づくり協定締結	R4：26団体	→	R10：36団体

挑戦する内容

- ・意欲のある林業事業者が行う森林の集約化や低コスト再造林の支援
- ・コンテナ苗出荷率向上に向けた生産技術の習得支援
- ・スギ特定母樹種子の計画的な増産と苗木生産者への安定供給
- ・花粉症対策としてのスギ人工林の伐採・植え替えの促進
- ・植林や育林活動に意欲的な企業等の森林経営への参画の促進
- ・子供たちの理解・関心を高めるための体験型森林環境教育の推進

関係者の声
=対話

- ・立木価格が低迷しており、経営意欲が湧かない（森林所有者）
- ・森林所有者は伐採後の再造林に消極的（林業事業者）
- ・コンテナ苗の生産技術をしっかりと習得したい（苗木生産者）
- ・SDGs等に貢献するため森林づくりに関わりたい（企業等）
- ・室内での勉強より現地で見学した方が分かりやすい（子供たち）

役割分担

- ・森林所有者、森林組合、林業事業者、企業等：森林づくりの実施
- ・県、市町村：森林づくりの支援、普及啓発、各種調整

変革後の姿

- ・再造林や間伐等の森林整備を適切に実施することで、CO₂の吸収・固定や水源のかん養など、森林の持つ多面的機能が高度に発揮

令和6年度計画

挑戦する内容

- 1 意欲のある林業事業者が行う森林の集約化や低コスト再造林の支援
 - ・再造林を進めるために実施される測量や資源調査など森林の集約化に係る経費を支援
 - ・低コスト手法を導入した再造林に係る経費を支援
- 2 コンテナ苗出荷率向上に向けた生産技術の習得支援
 - ・生産技術向上を目的とした研修会等を開催
- 3 スギ特定母樹種子の計画的な増産と苗木生産者への安定供給
 - ・採種園の適正な管理及び種子の需給調整を実施
- 4 植林や育林活動に意欲的な企業等の森林経営への参画の促進
 - ・県内企業を対象に森林経営や環境保全活動、カーボンクレジット等に対する意向調査を実施
- 5 子供たちの理解・関心を高めるための体験型森林環境教育の推進
 - ・NPO法人や地域住民等と連携し、参画しやすい企画立案や技術面のサポートの強化を実施
 - ・植樹活動に使用するための小学生等向け苗木づくりマニュアルを作成



緑豊かな森林づくり



伐採跡地への着実な再造林



コンテナ苗出荷率向上

対話

- ・部会を開催し、事業の進捗状況を把握するとともに、意見を参考に事業構築（8月、1月）
- ・林業事業者を対象としたヒアリングや担当者会議において再造林の現状・課題について意見交換し、再造林推進施策を検討（随時）
- ・コンテナ苗の生産技術向上等に向けた研修会において関係者と意見交換し、指導内容に反映（9月）
- ・林業種苗需給調整協議会において関係団体と情報共有し、種苗生産計画に反映（12月）
- ・森林経営等に関する企業の意向をアンケート調査のほか個別アプローチにより把握し、事業構築に反映（6月～）
- ・森林環境教育を実施した際の、子供たちの意見や感想を取りまとめ、企画立案に反映（11月）